

千葉県がんサポートブックの改訂について

令和7年3月
健康づくり支援課 がん対策班

発行状況

○平成25年3月	初版発行	9,500部
○平成28年1月	第2版発行	2,000部
○平成30年1月	第3版発行	4,000部
○令和3年3月	第4版発行	15,000部
○令和6年3月	第4版増補版発行	11,500部
○令和7年3月	第4版増補版発行	7,000部(予定)



配布・掲載

- ・がん診療連携拠点病院
- ・千葉県がん診療連携協力病院
- ・市町村
- ・健康福祉センター
- ・図書館 等
- ・千葉県がん情報 ちばがんナビ
- ・千葉県ホームページ



第5版の事務局改訂（案）①

生活や療養に関すること

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）についての追記

追記内容

◇人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

「人生会議」とは、あなたがのぞむ医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

自らが希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

話し合いの進め方等、詳しくは千葉県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/iryo-kaigo/jinseikaigi.html>

第5版の事務局改訂（案）②

インターネットで正しい情報を探す

がん情報を探すときのポイントの追記

追記内容

◇がん情報を見極めるときの3つのポイント

健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときには次の3つのポイント「いつの情報か」「だれが発信しているか」「何を根拠にしているか」を確認してみましょう。

（参考：国立がん研究センターがん情報サービス）

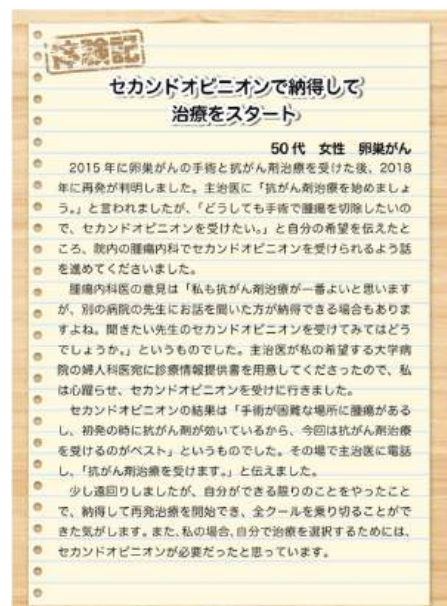
詳しくは国立がん研究センター がん情報サービス「情報を探すときのポイントとは」をご覧ください。

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/dia_tre_diagnosis/moshimogan03.html

第5版の事務局改訂（案）③

体験談をまとめる

体験記はまとめて記載されている方が読みやすい



委員の皆様からの主な意見①

ACPについて

- 自分自身や家族が納得できる医療やケアを受けるために話し合いや共有は必要。
- 患者の家族様向けの情報として重要に思う。
- 本当はACPよりはSDM（※）について加えてほしい。治療開始前から、医療者と協働で決めていくことの理解を得たい。
- がん罹患者として知っておいて損のない内容だと思う。

※SDM：受診者・医療者による共同意思決定（がん情報サービスより）

委員の皆様からの主な意見②

がん情報を探すときのポイント

- 自分自身や家族が納得できる医療やケアを受けるために自分に合った情報を得ることは重要。
- 巷にあふれるフェイクニュースへの対応ということだと思い、必要だと判断した。
- 情報リテラシーは今やがん受療には必須。
- 怪しい情報に振り回されている患者が多いと身の回りから聞く。

委員の皆様からの主な意見③

体験談をまとめる

- アンケートに合った通り、集約したページを持った方が活用できると思う。
- 第5版案では最後にまとまっているのでいいかと思う。